

公益財団法人かすがい市民文化財団 概要

平成29年9月1日作成



〒486-0844
愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井
TEL 0568-85-6868
FAX 0568-82-0213
MAIL zaidan1@kasugai-bunka.jp
H P <http://www.kasugai-bunka.jp>

目次

春日井市について	1
組織概要	2
組織図	3
事務分掌	4
職員の労働環境	5
職員属性データ	6
施設データ	7
指定管理者制度・顧客満足度調査	9
財務データ	11
自主文化事業データ	12
公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション	
1 創造－つくる	13
2 鑑賞－みせる	15
3 普及啓発－ひろがる	18
4 地域コミュニティ形成－つながる	21
5 活動支援－ささえる	22
6 人材育成－はぐくむ	23
友の会データ	24

春日井市について

概要

名古屋市に隣接する愛知県の特例市
市街化区域(市域面積の50.8%)の73.1%が住居
系用途地域 ※第5次春日井市総合計画

総人口:31万人(うち高蔵寺ニュータウン4.3万人)

世帯数:13.1万世帯

1世帯あたりの人数:2.36人

流出人口:約1.24万人/年 ※平成27年国勢調査

流入人口:約1.20万人/年 ※平成27年国勢調査



交通

■ 鉄道

JR東海中央本線で春日井駅～名古屋駅間約20分

JR東海中央本線(5駅)、名古屋鉄道(4駅)

東海交通事業城北線(2駅)、愛知環状鉄道(1駅)

■ 高速道路

東名高速道路、中央自動車道、名二環自動車道

■ その他

国道19号、155号

(19号交通量 約6.4万台/日※名古屋国道事務所調べ)

名鉄バス、かすがいシティバス

県営名古屋空港の一部



沿革(文化関係)

書のまち・・・小野道風誕生伝説地

昭和41年(1966年)	春日井市民会館オープン	定員1,022席(うち、車椅子席6席)※H29.9現在
昭和56年(1981年)	春日井市道風記念館オープン	...	書道専門の美術館
昭和58年(1983年)	東部市民センターオープン	ホール定員495席
平成6年(1994年)	ハーモニー春日井オープン	音楽練習施設
平成11年(1999年)	文化フォーラム春日井オープン	..	複合文化施設
平成13年(2001年)	かすがい市民文化振興ビジョン策定		
平成14年(2002年)	春日井市文化振興基本条例制定		
平成15年(2003年)	春日井市市民メセナ基金設置		
平成20年(2008年)	かすがい市民文化振興プラン策定		

組織概要

名称

公益財団法人かすがい市民文化財団
(Kasugai Civic Cultural Foundation)

基本財産

1億円(100%春日井市出捐)

設立年

平成12年 4月 1日 平成11年11月11日の文化フォーラム春日井の開館を契機に設立
平成23年10月 3日 「財団法人かすがい市民文化財団」から「公益財団法人かすがい市民文化財団」に移行

設置目的

この法人は、春日井市における文化・芸術の振興を図るため、市民のさまざまなニーズに対応した舞台芸術を中心とした鑑賞事業・絵画等の作品展示を通じて、市民が文化・芸術に触れる機会を安定的に確保し、豊かな文化社会の実現に寄与することを目的とする。(「公益財団法人かすがい市民文化財団定款」より)

役員

■ 理事 10名(うち女性2名)

理事長 山下興亜(中部大学名誉学事顧問)、副理事長 長谷川透(春日井市文化スポーツ部長) 他

■ 監事 2名(うち女性0名)

洞口眞澄(税理士)、加藤正紀(春日井市会計管理者)

■ 評議員 8名(うち女性3名)

早川利久(春日井市副市長)、浅井栄子(フリーリポーター)、岡田憲久(名古屋造形大学特任教授) 他

所在地

〒486-0844

愛知県春日井市鳥居松町5-44

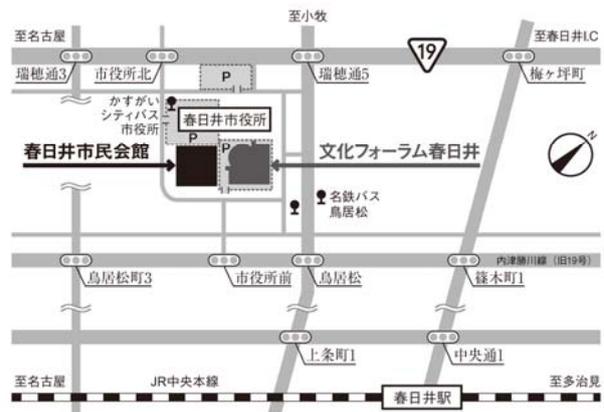
文化フォーラム春日井

電話 0568-85-6868

F A X 0568-82-0213

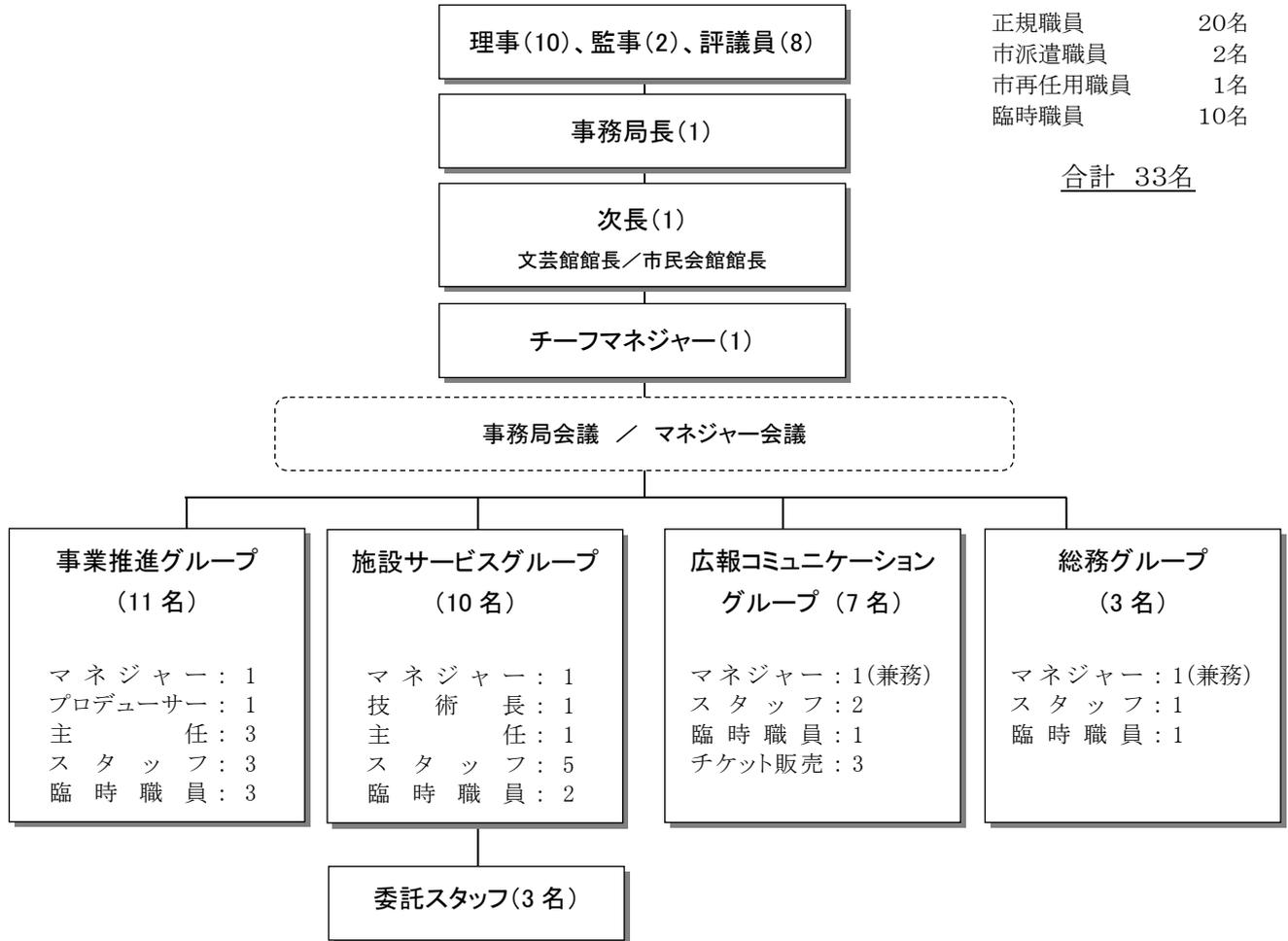
メール(代表) zaidan1@kasugai-bunka.jp

ホームページ <http://www.kasugai-bunka.jp>

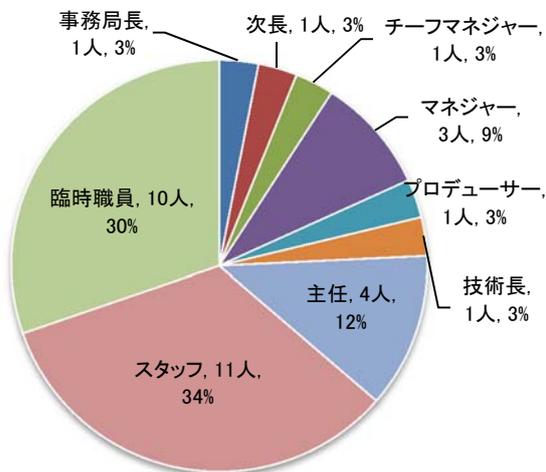


組織図

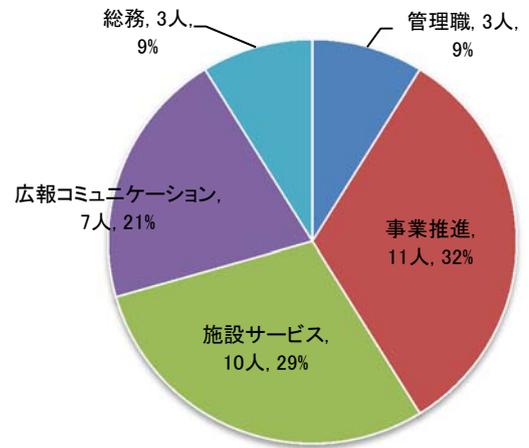
組織図



職位比率



所属グループ比率



事務分掌

事業推進グループ

- ・自主文化事業(舞台芸術、美術、文芸等)
- ・自分史事業
- ・受託事業(市民美術展覧会、短詩型文学祭)
- ・道風展(小野道風公奉賛全国書道展覧会)
- ・財団サポーターに関すること
- ・各事業の営業、販売促進
- ・票券管理(チケット)
- ・事業評価
- ・助成金等資金調達
- ・のだめ音楽会全国ツアー

施設サービスグループ

- ・文芸館及び市民会館の貸館業務
- ・交流アトリウムの運営(キッズコーナー含む)
- ・ギャラリー利用調整会議
- ・統計業務
- ・文芸館及び市民会館の施設管理
- ・施設利用サービス
- ・施設利用促進のための事業
- ・貸館業務における顧客満足度調査
- ・指定管理業務(セルフモニタリング含む)
- ・備品及び設備の管理
- ・駐車場に関すること
- ・後援に関すること

広報コミュニケーショングループ

- ・事業の効率的な宣伝、営業及び販売促進
- ・情報誌の制作及びホームページ
- ・友の会事業及び顧客の開拓
- ・文化情報プラザの運営
- ・財団全体の広報(財団パンフレット含む)
- ・マスコミ対応
- ・FORUM PRESSレポーターに関すること
- ・広告に関すること
- ・ミッションに関すること

総務グループ

- ・理事会、評議員会に関すること
- ・定款、その他の規程要綱
- ・文書の收受、発送及び保存
- ・財務運営
- ・職員の人事、給与、福利厚生
- ・その他の庶務(事業に関するものを除く)
- ・職員研修
- ・インターンシップに関すること
- ・公益法人の維持
- ・財団の経営
- ・共通事務用品の購入、管理
- ・他のグループの所管に属さないこと

職員の労働環境

給与(正規職員)

初任給: 高等学校卒146,100円、専修学校・短大卒155,800円、大卒178,200円、大学院卒191,700円
諸手当: 時間外勤務手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等

勤務時間

原則、午前8時30分から午後5時15分まで
ただし、2勤(午前11時45分から午後8時30分)または3勤(午後1時から午後9時45分)あり

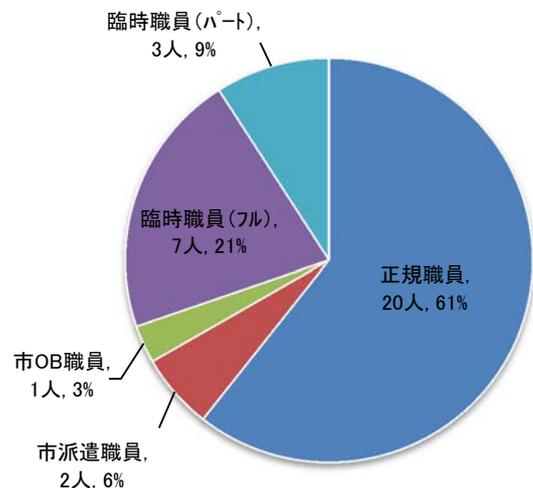
休日・休暇

- 休日
4週間で8日(休館日となる月曜日を含む)、国民の祝日(振替有)、年末年始(12月29日～1月3日)
- 休暇
年次有給休暇、病気休暇、特別休暇(結婚、出産、忌引等に要する休暇)

平均年齢

正規職員 33.6歳
(平成29年9月1日現在)

雇用形態比率



年次有給・厚生休暇取得平均日数

正規職員1人あたり 12.5日/年
(平成28年度実績)

時間外勤務平均時間数

正規職員1人あたり 23.5時間/月
(平成28年度実績)

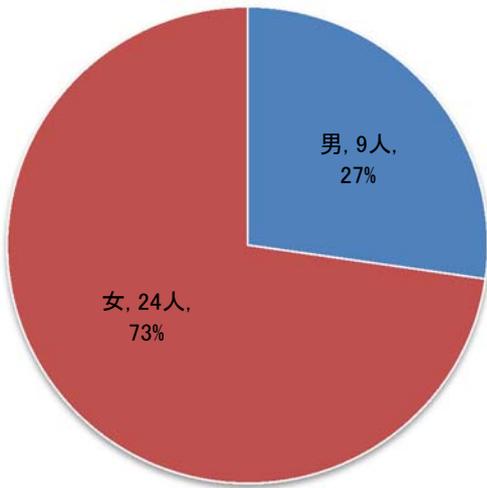
職員採用

公募・競争による採用
平成17年度より、市派遣職員を引きあげ、財団正規職員を採用
平成27年度まで有期雇用(3年間、契約更新は業務実績等を考慮)
平成28年度より無期雇用へ移行

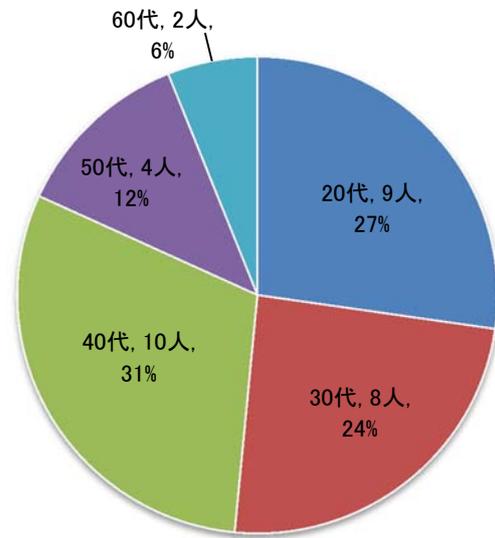
- 職員の出身地
愛知県、岐阜県、長野県、神奈川県、大阪府、大分県、北海道

職員属性データ

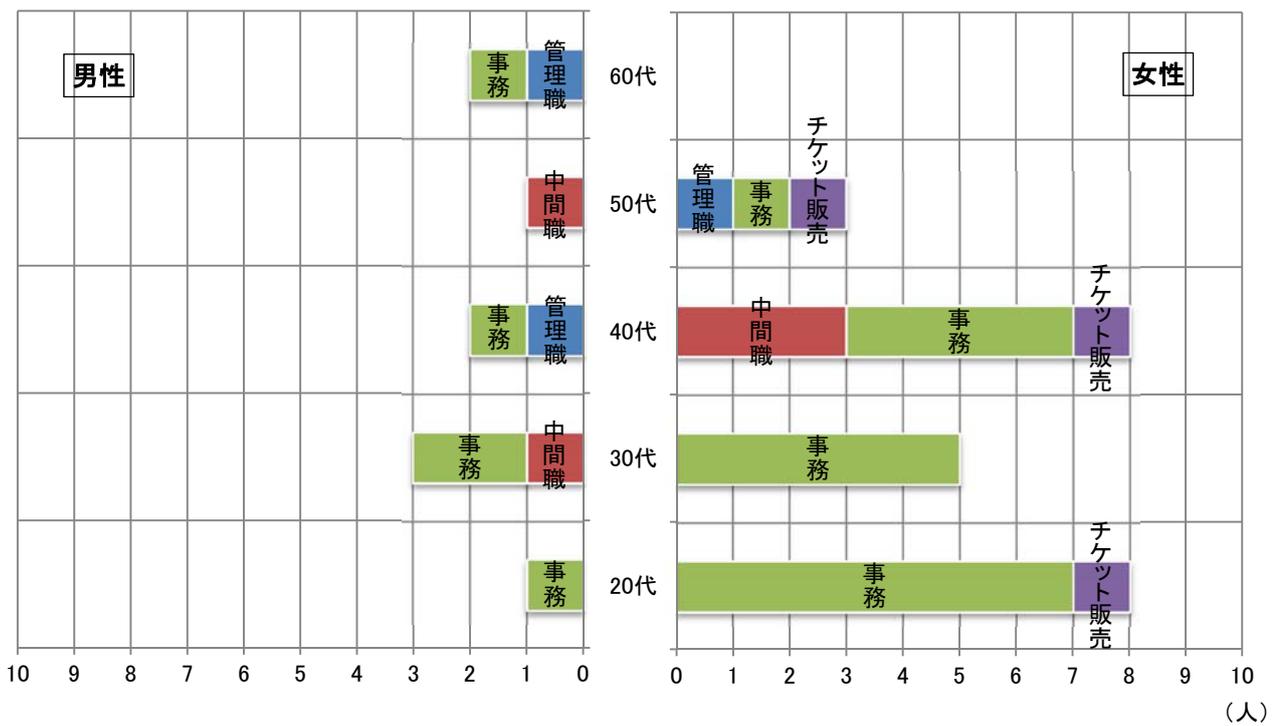
男女比率



年代比率



男女および役職別年齢構成



施設データ

文化フォーラム春日井(春日井市文芸館)

開館：平成11年(1999年)11月11日
 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造
 地下2階・地上4階・塔屋1階
 建築面積：3,784.32㎡
 延床面積：19,692.22㎡
 駐車場：168台
 総工費：約93億円
 利用状況：下記のとおり



施設名	利用率	回転率	利用件数等	利用者数	備考
視聴覚ホール	79.0%	61.9%	284件	31,972人	198席
交流アトリウム	100.0%	169.4%	609件	38,691人	1,017㎡、約280席
ギャラリー	88.5%	78.8%	39件	36,688人	329㎡
日本自分史センター	—	—	—	453人	蔵書7,939タイトル
文化活動室	73.5%	47.0%	268件	5,983人	定員45人
会議室	99.7%	66.8%	369件	10,410人	定員84人
和室	22.7%	10.4%	62件	1,181人	計14.5畳 茶室・水屋・中待合
ボランティアルーム	—	—	—	1,912人	ボランティア団体等が無料で利用
団体連絡室	—	—	—	—	市文化協会等が無料で利用
文化情報プラザ	—	—	—	17,566人	9:00~18:00
図書館	—	—	748,657冊	196,700人	収蔵能力70万冊

(平成28年度実績)



視聴覚ホール



ギャラリー

春日井市民会館

開 館：昭和41年(1966年)1月12日

構 造：鉄筋コンクリート造
地下1階・地上3階

建築面積：2,336.329㎡

延床面積：3,852.564㎡

駐 車 場：103台(市民会館駐車場)

総 工 費：2億2,900万円

利用状況：下記のとおり

耐震補強工事：平成24年11月6日～平成25年5月31日

耐震補強工事、客席取替、控室修繕

費用3億円

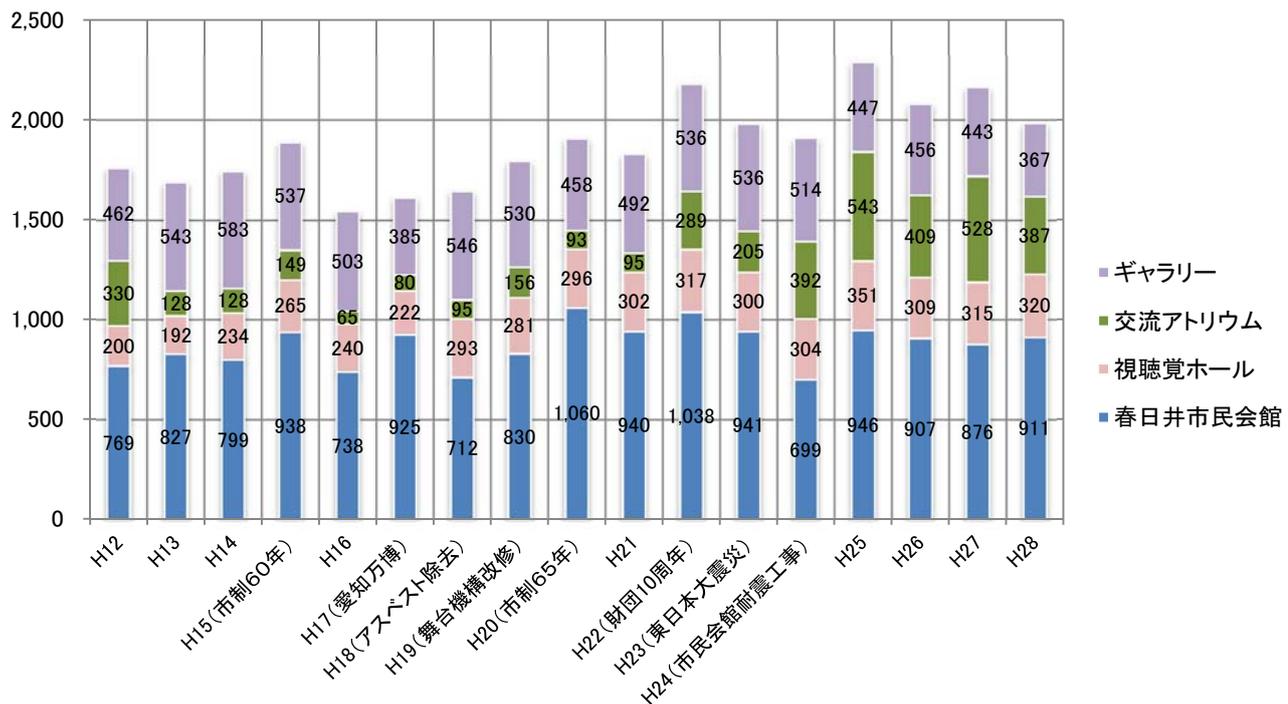


施設名	利用率	回転率	利用件数等	利用者数	備考
ホール	64.0%	55.6%	156件	91,126人	1,022席(車イス席6席を含む)

(平成28年度実績)

利用者数推移

(百人)



指定管理者制度・顧客満足度調査

指定管理者制度

- 時期：平成17年度導入
 《1期目》 平成17年4月1日～平成22年3月31日
 《2期目》 平成22年4月1日～平成27年3月31日
 《3期目》 平成27年4月1日～平成32年3月31日
- 期間：5年間
- 応募方法：非公募
- 自主文化事業：上下分離式(指定管理業務に自主事業を含まない)
- 利用料金制度：未導入(平成12年度のみ導入)
- 会計年度：4月1日～3月31日(1年間)
- 委託料精算：各年度末に実施
- 市主管課：文化スポーツ部文化・生涯学習課

顧客満足度調査

■ 調査テーマ

- ① 現行サービスの満足度
- ② サービス品質管理
- ③ サービス改善・強化ポイントの抽出

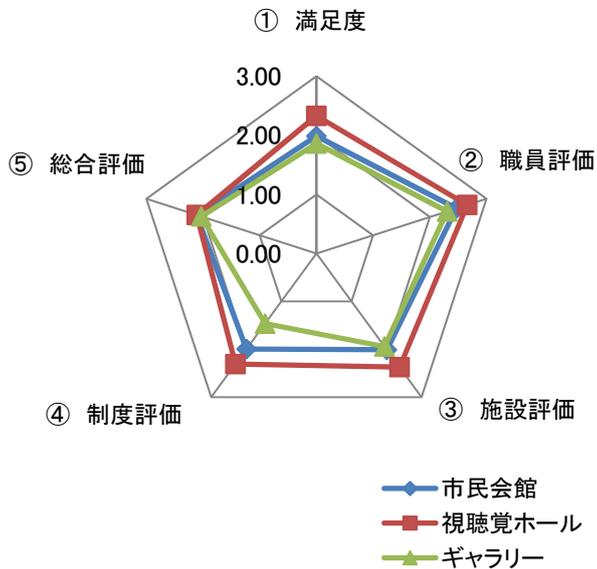
■ 調査対象

- 第1回調査 平成16年4月1日～平成18年8月31日の施設利用者
- 第2回調査 平成18年9月1日～平成20年8月31日の施設利用者
- 第3回調査 平成21年4月1日～平成23年3月31日の施設利用者
- 第4回調査 平成23年4月1日～平成25年3月31日の施設利用者
- 第5回調査 平成25年4月1日～平成27年3月31日の施設利用者

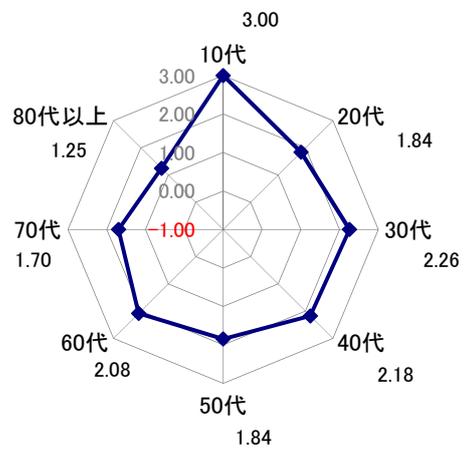
■ 調査形式

事実発見型調査

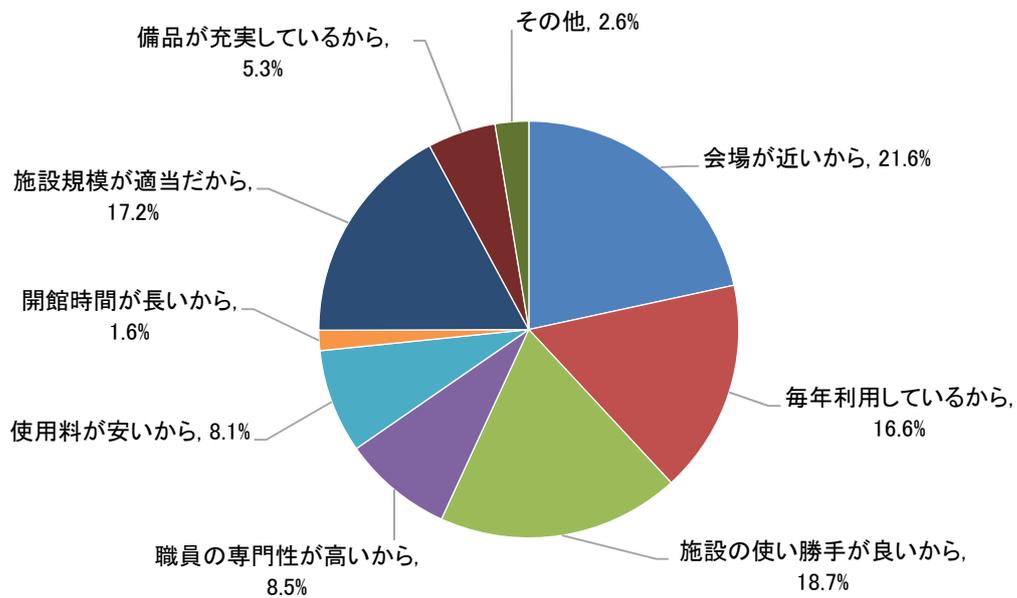
満足度調査結果



年代別満足度比較



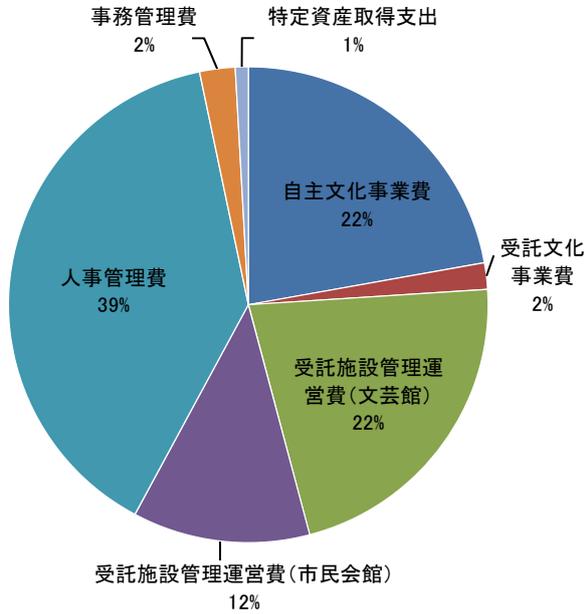
施設利用目的



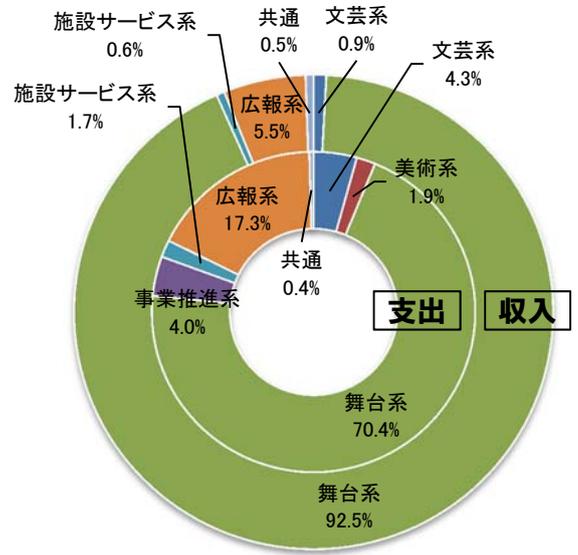
(すべて第5回調査実績)

財務データ

全体内訳

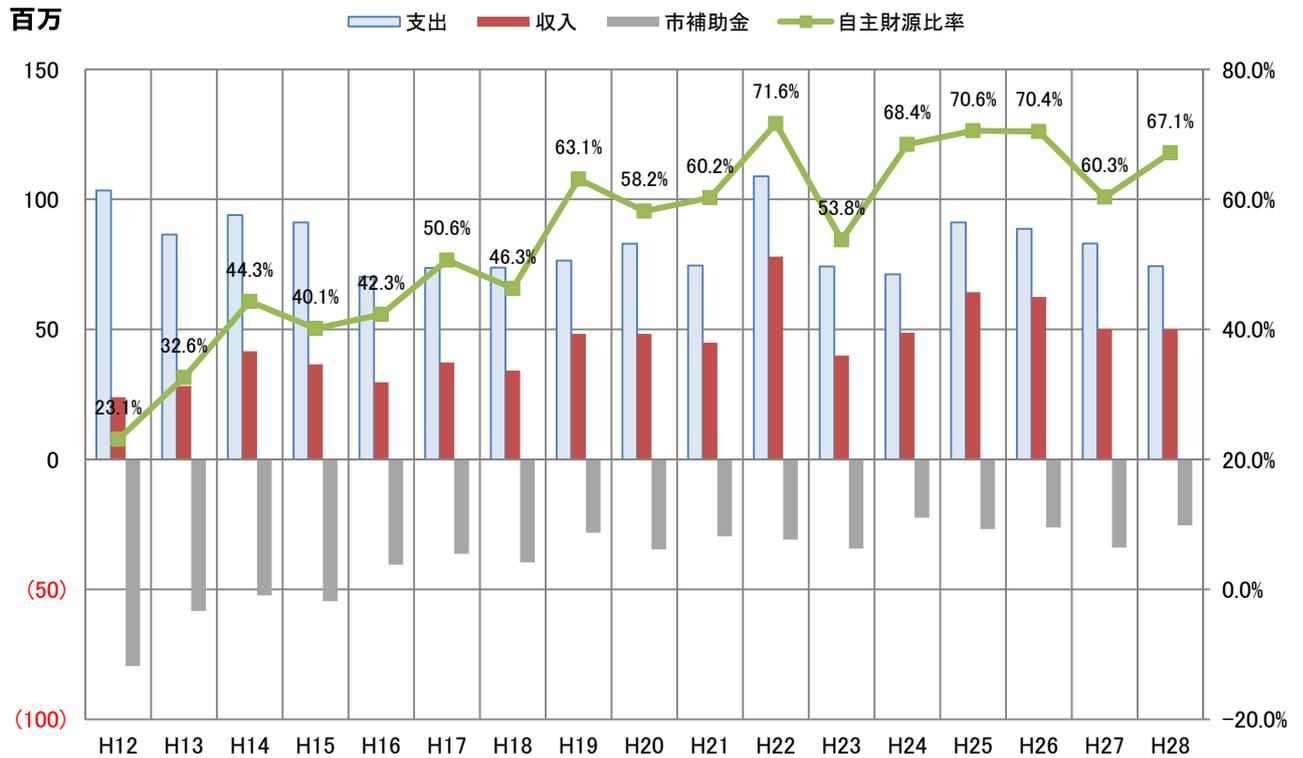


自主文化事業費 系統別支出割合



(すべて平成28年度実績)

自主文化事業費の収支推移



財団設立 10 周年
記念事業

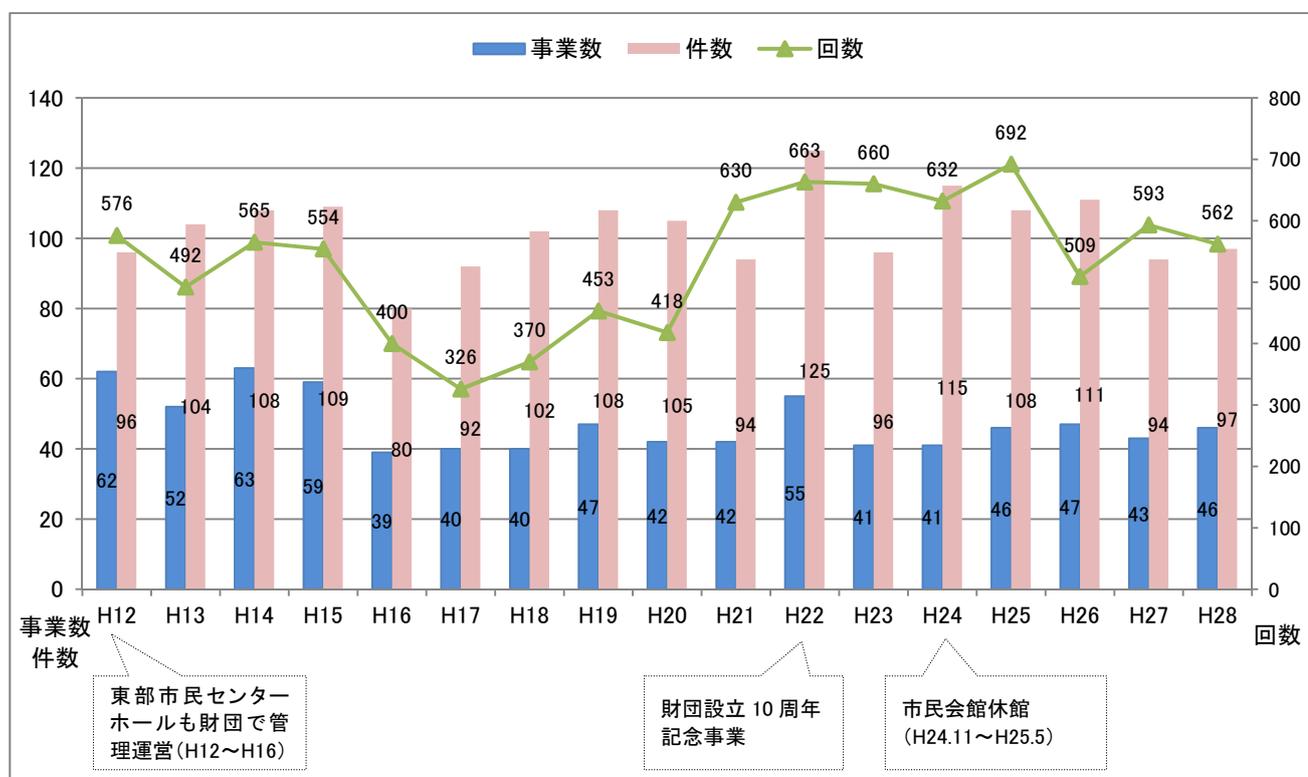
市民会館休館
(H24.11~H25.5)

自主文化事業データ

事業数・件数・回数推移

事業数は、同じ目的を持った事業を1つの事業にまとめてシリーズ化したことにより開館当初より減少していますが、事業の認知度を高めて安定した集客を確保しています。また、散発的であった事業を絞り込むことで、当財団の顔となるブランド形成を目指しています。

件数や回数が増加傾向にあるのは、本公演や展覧会にあわせて、普及啓発を目的とした関連企画等を複数回実施しているためです。単に観るだけでなく、ワークショップなどの体験型事業や参加型事業などで、アーティストと直接触れ合える機会を提供し、より深く芸術文化とつながれるよう事業展開を行っています。



公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション

1 創造—つくる

ミッション1 創造—つくる

「優れた芸術家と共に、創造性あふれる事業をつくります」

優れた芸術家と共に創意工夫を凝らし、地域の特色を踏まえた創造性あふれる事業を実施します。総合文化施設としての強みを活かし、舞台芸術、美術、文学などのジャンルを横断したオリジナル企画や、未知の作品や表現との出会いを創造します。

茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会（のだめ音楽会）

のだめ音楽会は、平成18年1月に開催した当財団主催による春日井市民会館での初演以来、平成19年6月、平成20年8月、平成22年7月・8月、平成25年6月、平成28年1月・3月・5月と回を重ねて計10公演開催してきました。漫画“のだめカンタービレ”に登場する曲を生のおchestraで演奏すると同時に、その曲が登場する場面のイラストやリアルタイムな楽曲解説を、オーケストラ後方のスクリーンに映し出すコンサートです。

「春日井での感動を全国各地でも！」という要望に応え、「のだめ音楽会ツアー」がスタートしたのが平成18年10月。現在までに全国33都市で計91公演を開催し、延べ13万人を動員しました。

原作マンガやドラマ、アニメをきっかけに、クラシックコンサートを観たことがない方にも多く来場いただき、文化芸術の裾野を拓げる取組となっています。



生演奏と投影で綴る大作曲家の大傑作シリーズ

「のだめ音楽会」の手法と同様に、オーケストラの背後に楽曲解説を投影してクラシック音楽を聴いていただくコンサートです。「のだめ音楽会」の次のステップとして、クラシック音楽を理解して聴いていただくことを目的に制作しました。平成26年度はモーツァルト、平成29年度はベートーヴェンを取り上げ、ベートーヴェンは完売となる盛況でした。クラシック音楽の新たな聴き方ができるコンサートとして、多くの人々の支持を集め、今後のシリーズも期待されています。



自分史×演劇

平成29年度から、プロの演出家と公募で集まった市民とともに、自分史の更なる魅力を演劇作品の創作を通じて再発見していくことを目的とした【自分史×演劇】企画が3ヵ年計画でスタートしています。

既成の自分史作品をそのまま演劇にするのではなく、「人はなぜ自分史を書くのか？」等、自分史を書く“人の想い”にスポットをあてていくことで、自分史を書くという行為に対し物語性を見出していきます。

春日井という地域性も作品に取り入れることで、春日井でしか作れないオリジナルの作品創作に挑戦します。

1年目の平成29年度には、北九州を拠点に活動する俳優・演出家の有門正太郎氏を招き、1月から創作を開始し、3月に文化フォーラム春日井・視聴覚ホールで作品の発表を行う予定です。

また、7月には本企画のプレイベントとして、夏休みの子どもたちが有門氏とともに鳥居松商店街のお店の方にインタビューを行い、お店の方が大切にしている物にまつわる記憶を聞きだすワークショップを行いました。



自分史について

どんな人にも、歩んできた人生にたくさんの物語があります。「自分史」とは、人の思い出や記憶を紐解き、ありのままに記した物語です。個人を敬い、心のつながりを認識する大切な文化です。執筆に伴い人生を見つめ直すことで、明日からの生き方につなげ、作品を通じて時代や経験を共有し、人生を広げることができます。

春日井市では、全国の自治体に先駆けて、「日本自分史センター」を平成11年に設立し、自分史の普及啓発事業に取り組んでいます。

公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション

2 鑑賞－みせる

ミッション2 鑑賞－みせる

「市民の心を豊かに育む、質の高い多彩な芸術を鑑賞する機会を提供します」

一部のジャンルや世代に偏ることなく、質の高い魅力的な事業を実施し、誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供します。また、年齢や性別、社会的状況等に関わらず、より多くの市民が鑑賞できるよう、様々な工夫や配慮を行います。

かすがい芸術劇場

当財団ブランド戦略の第1号

“規格”を先に定義

年1～2回、入場料2,500～2,800円

今後の活躍が期待されるアーティストを、いち早く市民に紹介し、間近で生の舞台を体験できる公演を提供しています。



■ 過去出演者

小林浩平、劉謙、Jeremy Pei、ひかり、球斗(マジック)／水永牧子(チェンバロ)／クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏)／戸崎由香(ピアノ)／梅村幸江(ヴァイオリン)、早瀬美紀(コントラバス)、玉井真紀子(クラリネット)、島岡幾代(バスーン)、田中誠剛(トランペット)、大室直樹(トロンボーン)、松原昭仁(パーカッション)、笠木厚憲(語り)／木下尊尊(ギター+チャランゴ+ヴォーカル)、フェルナンド・トリコ(ケーナ+シーク+ピッコボ)、小林智詠(ギター)／古谷真理子、吉田美紀、石岡美紀(バイレ)、ホセ三浦(カホン)、山崎まさし(ギター)、クローバルデペーニャ(カンテ)／人形劇団むすび座、人形劇団バン／笑福亭鶴光(上方落語)、柳家とし松(曲ごま)／シャンプーハット、2丁拳銃、オレンジ、ブロードキャスト(漫才)／尾野カオル(エレクトーン)、Asa festoon(ヴォーカル)／鈴木文子(クラリネット)、仁科恵美子(クラリネット)、渡辺祐子(ピアノ)、飯田あかね(ピアノ)／パントマイムユニットTORIO／田辺一鶴、田辺東鶴(講談)／小宮孝泰(ひとり芝居)／小林美千代(アルト・サクソ)、後藤浩二(ピアノ)、島田剛(ベース)、黒田和良(ドラムス)／かとうかなこ(アコーディオン)、笹子重治(ギター)／春風亭昇太、柳家柳太郎(落語)／ゲイルス(アイリッシュ・ミュージック)／龍生(和妻)、鏡味仙若(江戸太神楽)／栗コーダーカルテット(リコーダー四重奏)／ザットルテ(ヨーロッパ・ミュージック)／桜井美芳(オーボエ)、志津妙子(ユーフォニアム)、柴田康善(クラリネット)、高橋沙紀(トランペット)／はじめにきよし(のこぎり音楽)／アウラ(ア・カペラ)／児玉たまみ(歌)、吉田幸生(ピアノ)、宗川論理夫(ヴァイオリン)／葉衛陽(中国琵琶)／林正樹(ピアノ)、西嶋徹(コントラバス)、柏木広樹(チェロ)／レ・フレール(ピアノ・デュオ)／神谷重良(三味線)、中野みち子(唄・踊り)、味胤(津軽三味線グループ)／上村なおか、笠井瑞丈(コンテンポラリー・ダンス)、藤田佐和子(ピアノ)／オペラシアターこんにゃく座／ビリケン(フォーク・クラブ)／楠美津香(一人芝居)／たいらじょう(人形劇俳優)／桂吉弥、桂紅雀、桂佐ん吉(落語)／いちむじん(ギターデュオ)／うめ吉(俗曲師)／タテタカコ(シンガー・ソング・ライター)／村松崇継(作曲/ピアノ)／伝の会(長唄三味線)／HIROSHI(ピアニスター)／柳家喜多八(落語)／柳家三三(落語)／アルケミスト(ヴォーカル&ピアノ)／古今亭菊之丞(落語)／東京大衆歌謡楽団(昭和歌謡)／松永貴志(ジャズピアノ)／サエラ(ポップス)／森下真樹(コンテンポラリー・ダンス)／桂よね吉(落語)／林家正雀(落語)／平井真美子(作曲、ピアノ)／天平(作曲、ピアノ)／セレノグラフィカ(コンテンポラリー・ダンス)／HIDE-HIDE(尺八、三味線)／小林頭作(読み聞かせ)／春風亭一之輔(落語)／畠山美由紀&ショーロクラブ(ボーカル&ショーロ)／桑島法子(朗読)／古今亭文菊(落語)

かすがい日曜シネマ

当財団ブランド戦略の第2号

年6回、入場料800～1,000円

平均来場者数:245人/1作品1日

セリフや情景をイヤホンで案内する音声ガイド付

世界各地の舞台芸術、音楽、美術等をテーマにした良質な映画の上映を行っています。上映前に職員が解説をし、映画の内容をより深く理解できるように工夫しています。



■ 上映作品(直近5年)

オーケストラ! / 小さな村の小さなダンサー / 風の前奏曲 / バーレスク / ノーウェアボーイ / ハーモニー / ペーパーバード / バビロンの陽光 / リトルランボーズ / モリエール / ミス・ポター / アメイジング・グレイス / わたしのちいさなピアニスト / ジョイフル♪ノイズ / フランススコの2人の息子 / ファースト・ポジション / 命をつなぐバイオリン / アンコール!! / ヒッチコック / はじまりのみち / もうひとりのシェイクスピア / ソウルガールズ / 光にふれる / ワンチャンス / 怪しい彼女 / 太秦ライムライト / タイピスト! / くちびるに歌を / スtockホルムでワルツを / もういちど / パパロッチェ / ボーイ・ソプラノ / ただひとつの歌声 / エール! / 黄金のアデーレ 名画の帰還 / Dear ダニー 君へのうた / 花、香る歌

松竹大歌舞伎

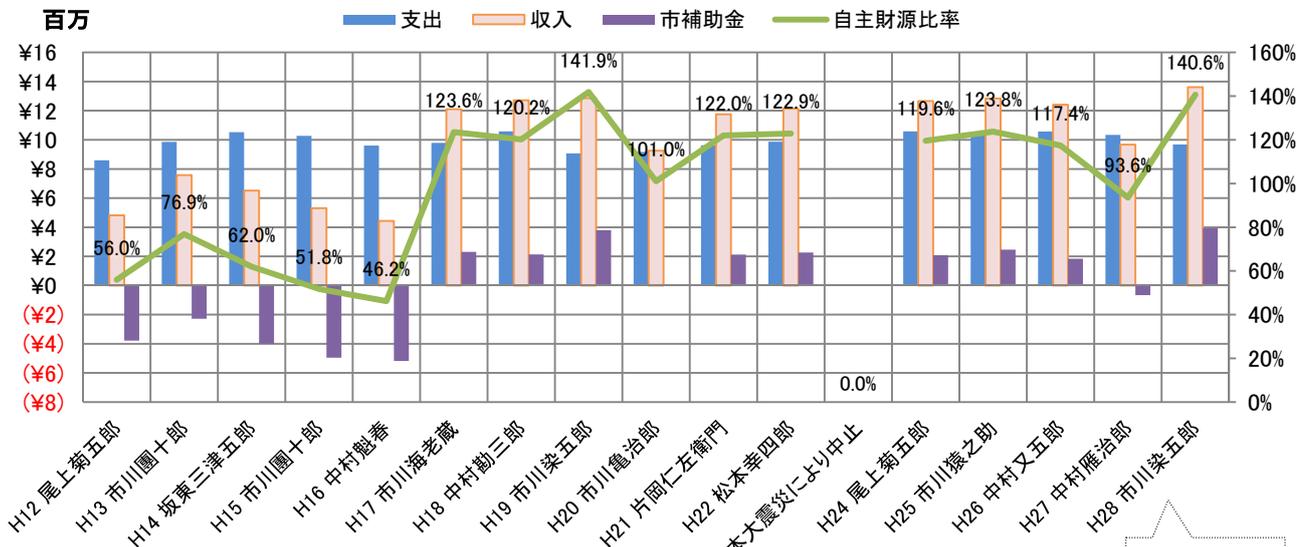
当財団設立前から続く夏の恒例事業

年1回、入場料3,500円～7,500円

H17財団職員プロパー化以降、黒字化に努めています。平成29年度に34回目を迎えました。

■ 関連企画

公演の見どころを解説する歌舞伎セミナー / 特製歌舞伎弁当やスイーツ付き歌舞伎ソムリエの直前解説 / 中高校生への演目解説



通算 33 回目

展覧会事業

文化フォーラム春日井・ギャラリー、交流アトリウム等で様々なジャンルの展覧会を実施しています。

平成24年度には「安野光雅 絵と文学の出会い」を開催しました。幼い子ども連れの親子も気兼ねなく鑑賞できるよう「赤ちゃん＆ギャラリーさんぽ」の時間を設けることにより、子どもから大人まで幅広い世代の方が多く来場しました。

平成25・27年度には、あいちトリエンナーレの関連事業を実施しました。施設内だけでなく、近隣商店街でもまちなか会場として作品展示を行い、より身近に現代アートに親しむ機会づくりを行いました。また、愛知県美術館サテライト展示等を開催し、県や他施設との連携も広く行っています。

平成28年度には、地元アーティストと財団職員で一から展覧会を制作し、ワークショップを行いました。アイデアを出し合い、互いの得意分野を最大限に活かすことで、作家のイメージを形にすることができました。



■ 過去実施展覧会(抜粋)

H24年度	9～10月	平成24年度市町村立美術館活性化事業／第13回共同巡回展 写真家 石元泰博 一時代を超える静かなまなざしー
	2～3月	安野光雅 絵と文学の出会い
H25年度	9月	あいちトリエンナーレ2013 モバイル・トリエンナーレin文化フォーラム春日井
	11～12月	あそびでつながる広場 プレイ×アート
	2～3月	谷川俊太郎 ことばとアート
H26年度	8～10月	上田桑鳩 手島右卿 金子鷗亭 桑原翠邦 比田井天来門下四書家の足跡を辿る 四神の書
	11～12月	Shinzi Katoh 世界に愛される雑貨デザイナー・アーティスト
	2～3月	こどもの心を持ったおばあちゃん画家 塔本シスコ展
H27年度	9月	愛知県美術館サテライト展示 藤井達吉展
	1～2月	となりの人びと 現代美術in春日井 (あいちトリエンナーレ関連事業)
H28年度	12月	美術家・堀口葵 展覧会&ワークショップ wish a merry むくぬく Christmas !
H29年度	4～5月	愛知県美術館サテライト展示 熊谷守一展 ー木村定三コレクションよりー

公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション

3 普及啓発－ひろがる

ミッション3 普及啓発－ひろがる

「市民が芸術に関心を持ち、誰もが参加できる環境をつくります」

芸術が市民の暮らしの中に浸透する環境づくりに取り組みます。体験・参加型の事業を充実させ、芸術活動に取り組む意欲を引き出し、高めるような工夫を行います。また、芸術に触れる機会の少ない方のもとへ出向くなど、関係機関と連携・協力し、芸術の裾野を広げます。

昼コン&夜コン

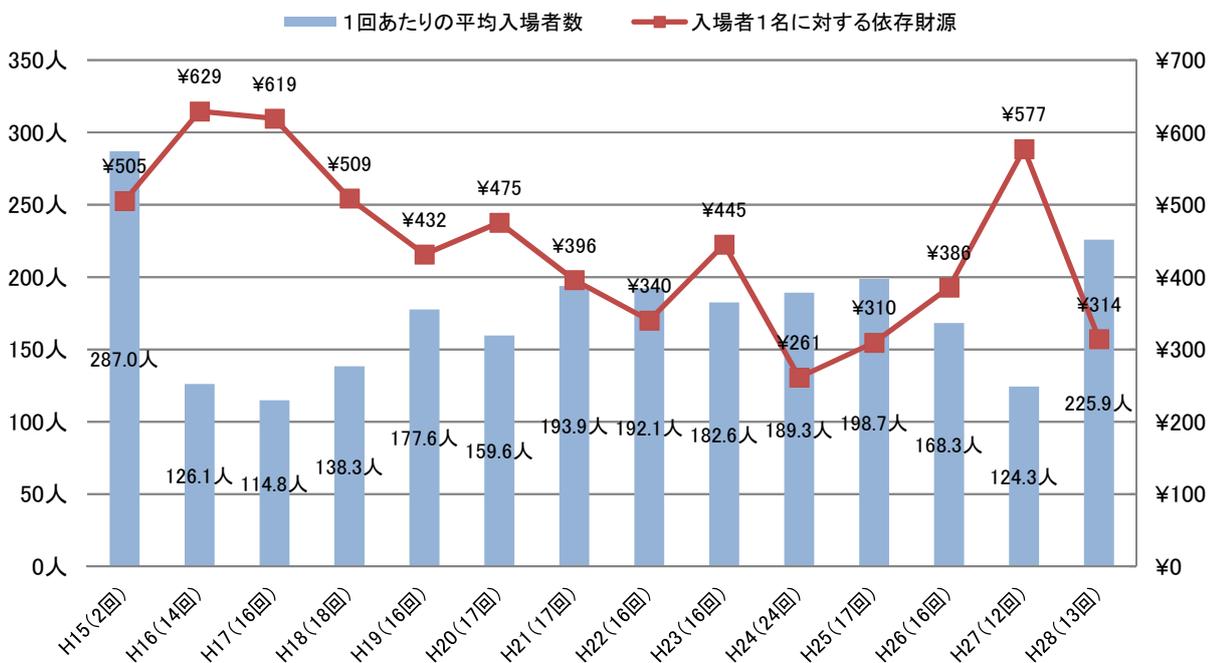
文化フォーラム春日井の1階吹抜け空間である“交流アトリウム”で行うコンサート

毎月2回(土曜日の昼と金曜日の夜)、入場無料

平成28年9月には200回目を記念して、春日井市広報大使のピアニスト・内匠慧のスペシャルコンサートを行い、入場者600人超の大盛況となりました。



■ 平均入場者数と入場者1名に対する依存財源



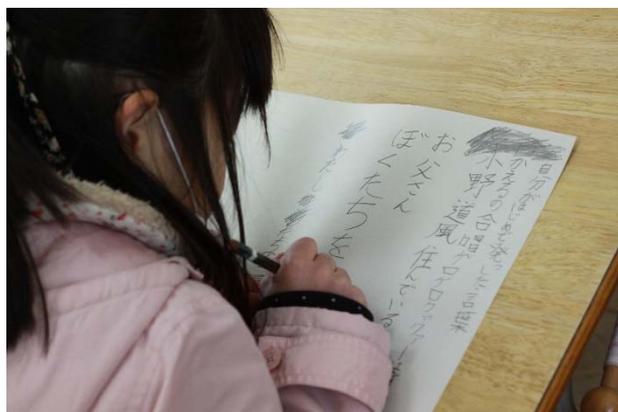
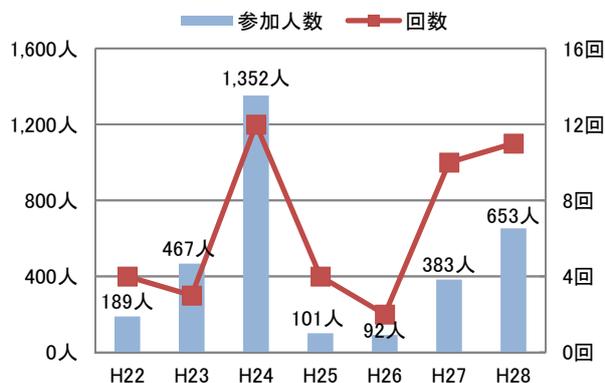
平成28年度は、来場者及び企業から199,952円の寄附をいただきました。

アウトリーチ事業

地元のアーティスト・作家とともに教育普及活動

春日井市をはじめ近隣市町村で活動を行う作家の発表の場を設けるとともに、彼らが直接学校に赴く活動を行っています。芸術を通して、子どもたちの自由な発想を促し、子どもたちが創作の面白さ、気付き、喜びを見出す活動を行っています。

■ アウトリーチ実績



公募自分史「掌編自分史」

短編の自分史を全国から募集し、優秀作品を掲載した作品集を刊行

毎年1回、応募無料

応募者平均年齢(平成28年度実績):

71.4歳(最年少21歳、最年長92歳)

書き手・読み手双方の自分史人口の拡大を目指して開催しています。春日井市内や愛知県からの応募が中心ですが、北海道から沖縄県まで全国各地から150作品程の応募があります。



スタインウェイ開放します

市民会館の利用がない平日にスタインウェイピアノを1時間自由に弾ける
毎年3～6日間、1枠1,000円

平成26年度の初回から毎年募集枠以上の応募がある人気企画です。普段は使用できない貴重なスタインウェイピアノを使用できる機会を提供するとともに、施設の有効活用につなげています。



青少年サポートプログラム

小中高生を中心とする青少年が、文化に親しむことができる鑑賞づくりのために青少年鑑賞サポートプログラムを実施しています。優待価格・招待やプログラム参加者への事前解説を実施することで、より深く理解をしながら、継続的に鑑賞できる機会を設けています。



■ プログラム利用者実績【優待価格:500円】

	日付	事業名	参加人数	備考
H27年度	7月 17日	松竹大歌舞伎	50人	
	9月 5日 ～9月 23日	愛知県美術館サテライト展示 藤井達吉展	44人	招待
	10月 3日	こまつ座「國語元年」	50人	
	1月 24日、3月 13日	のだめカンタービレの音楽会	220人	1/24:97人、3/13:123人
H28年度	5月 8日	のだめカンタービレの音楽会	111人	
	5月 29日 ～9月 25日	かすがい日曜シネマ	13人	3日間、16:30の回のみ
	7月 18日	松竹大歌舞伎	20人	招待
	10月 2日	林家喬太郎独演会	3人	
	10月 8日	演劇集団キャラメルボックス	223人	
	11月 13日	桑島法子『銀河鉄道の夜』	29人	
	1月 28日	花形狂言	33人	
H29年度	4月 22日 ～5月 14日	愛知県美術館サテライト展示 熊谷守一展	349人	大学生以下無料
	5月 7日	生演奏と映像で綴る大作曲家の大傑作シリーズVol.2ベートーヴェン	91人	
	7月 23日	松竹大歌舞伎	37人	夕方の部のみ

公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション

4 地域コミュニティ形成 一つながる

ミッション4 地域コミュニティ形成 一つながる

「人と人、人と社会」のつながりが実感できる、交流の場を創出します」

自然に人々が集い、交流が生まれる開かれた場を創出します。市民が社会とのつながりを実感できる機会を提供し、地域コミュニティ形成の一助となります。また、この地域が持つ独自の価値や潜在力を、芸術を触媒として引き出し、ここに暮らす人が「住んでいてよかった」と思えるまちの魅力を見い出します。

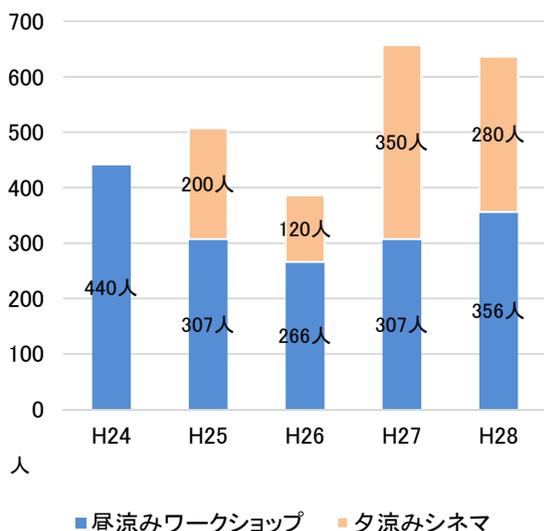
昼涼みプロジェクト

毎年夏休みを通して実施する体験型イベント
毎年(主に土日)、参加料無料～500円程度

主に小学生の参加者同士で協力をしながら、工作や体験を楽しめるワークショップを複数回行っています。地元で活躍する作家やアーティストを講師として招き、市民との交流の場になっています。

8月後半には「夕涼みシネマ」を開催しています。暑さがやわらぐ夕暮れ時に、屋外広場で家族や友人と楽しめる映画を上映します。友の会提携ショップによる出店もあり、夏休みの思い出を多くの人と共有できる開放的なイベントです。

■ 参加人数



公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション

5 活動支援—ささえる

ミッション5 活動支援—ささえる

「市民に活動や発表の場を提供し、自主的・自立的な芸術活動を後押しします」
職員の実践的な知識や技術を活用して、地域文化をけん引する市民の自主的な芸術活動をサポートします。
事業で培ったノウハウをもとに、市民の視点に立った柔軟できめ細かいサービスを提供します。

アトリウム音楽祭

市内外の音楽団体による発表会
毎年2回(3日間程度)、参加料5,000円/団体

オープンスペース(交流アトリウム)での発表会から、クローズドスペース(視聴覚ホール)での発表会へとステップアップ支援するのも、当財団の役割の一つと考えています。



舞台制作セミナー

高校生対象の舞台制作セミナー
毎年1回、参加無料

春日井市内の高等学校吹奏楽部を対象に、舞台技術のノウハウや演出方法を伝えるセミナーを毎年開催しています。実際に機材を操作して効果を体験してもらい、各校の定期演奏会に向けて芸術活動を後押ししています。講師は職員が務めることで、顔の見える施設を目指しています。



公益財団法人かすがい市民文化財団ミッション

6 人材育成－はぐくむ

ミッション6 人材育成－はぐくむ

「教育機関や文化施設と連携・協力し、次代を担う人材を育てます」

芸術家、アートマネジャーなど、将来この地域の芸術を担う人材を育てるため、大学をはじめとした教育機関や文化施設と連携・協力し、長期的視点に立った専門的人材の養成や職員の資質向上に務めます。また、芸術の良き理解者であるボランティアと協働し、豊かな芸術を育む土壌づくりに取り組みます。

かすがい市民文化財団サポーター

ボランティアスタッフ

参加人数:フロントスタッフ38人 レポーター15人

活動回数:フロントスタッフ 28回程度/年

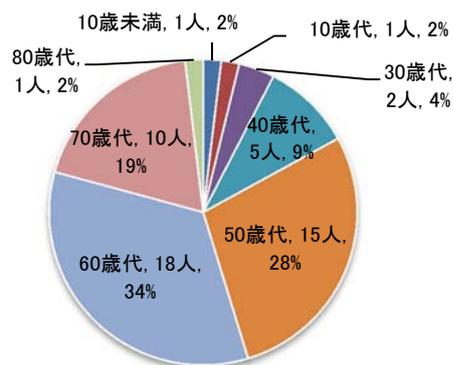
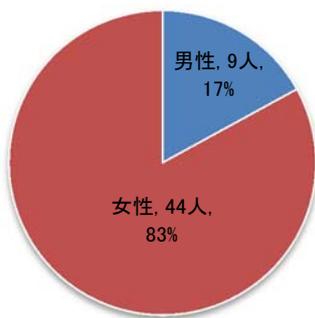
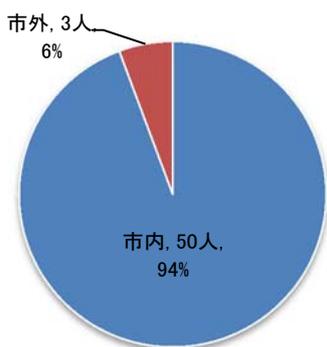
レポーター 20回程度/年

市民が“文化芸術に自ら親しむとともに、他の人が親しむのに役立ったり、お手伝いしたりするような活動”を応援する事業です。同サポーターが市民として、また良き理解者として当財団の活動を下支えして下さるような関係づくりに努めています。

舞台公演等の自主文化事業で来場者をもてなすフロントスタッフと、財団発行の情報誌「FORUM PRESS(フォーラムプレス)」等に、公演や展覧会等を観た感想をレポートするレポーターが活躍しています。



■ サポーター構成



友の会データ

友の会

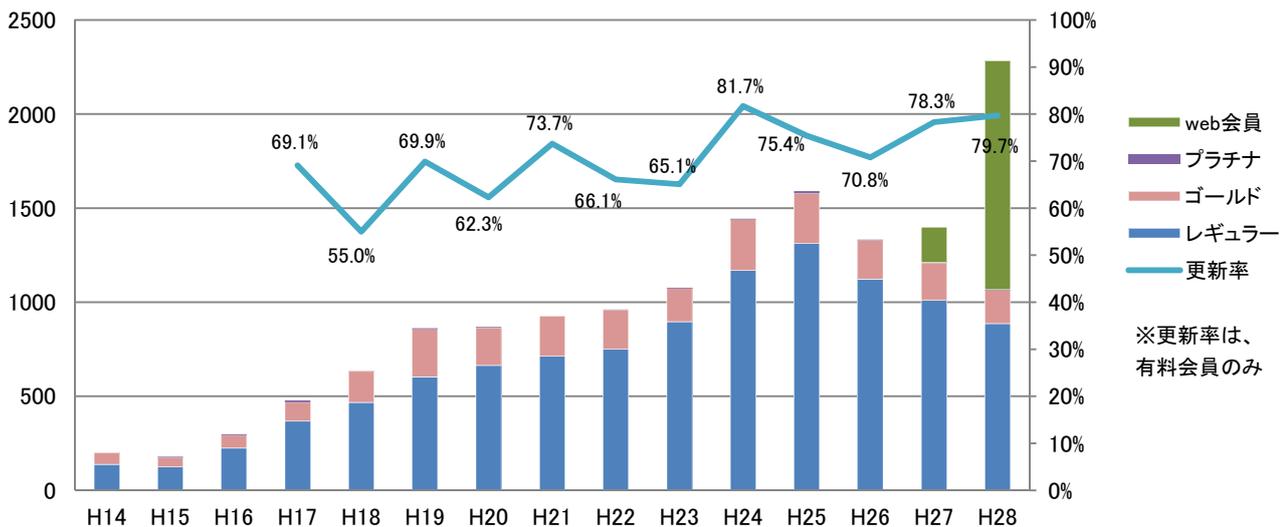
平成14年度から続く友の会は、高い更新率を保ち、リピーターの確保に繋がっています。

チケットの先行発売や割引だけでなく、友の会優待企画や市内提携ショップと連携したバースデープレゼントの実施を通して、市民や地域と密接な関係性を築いています。

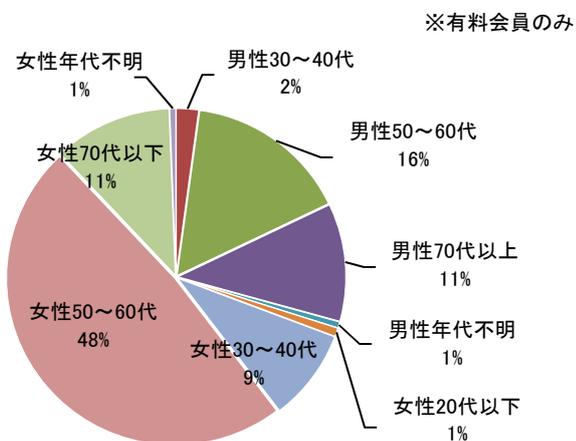
レギュラー会員：2,000円/年
 ゴールド会員：3,000円/年
 プラチナ会員：10,000円/年
 Web会員：無料(登録制、H27.2～)

平成27年2月からは、チケットのインターネット販売の開始に伴い、無料のweb会員を発足しました。市民のニーズに合わせた会員制度の見直しを常に行っています。

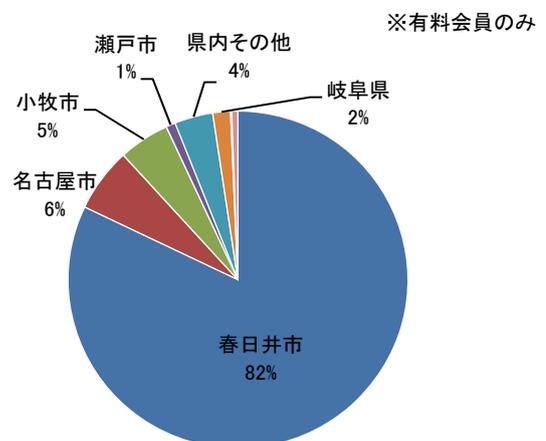
会員数・更新率推移



年齢・性別



住所



(すべて平成28年度実績)

財団イメージキャラクター

PiPi

